

自然と文化を ウォーキング 「猪名川下流を歩く」のご案内

自然と文化科 観察委員会

初夏のさわやかな時、豊かな自然が残る 猪名川下流を、川沿いに ゆっくりと歩いてみましょう。
まず 蛇行していた猪名川を 洪水対策で直線化したために 大阪平野の真ん中に残された 貴重な自然林。
次に せせらぎの音を聞きながら 河原に咲く草花と 川岸に繁茂する樹木を観察。
そして 吹き渡る風が心地よい堤防を、真横に競馬場 そして遠くに六甲山を眺めながら リラックスしてウォーキング。
お昼には 弥生時代全期に亘って人々が暮らしていた 田能遺跡へ。2,000年前の暮らしを 想像してみましょう。
最後に 大阪空港B滑走路南端で、大迫力の飛行機の離発着を体感。騒音問題はいろんな課題を抱えていました。

記

- 実施日時 : 平成29年6月2日(金) 10:00
- 集合場所 : 阪急神戸線 園田駅 改札口 (十三から2駅・普通のみ停車・改札は1か所)
- 雨天の場合 : 当日朝NHKTV画面左上の天気予報で、兵庫南の午前の降水確率が 60%以上で中止
- コース : 園田駅～船詰神社～猪名川自然林～猪名川公園(トイレ)～猪名川河川敷～堤防～
田能遺跡(昼食・トイレ)～猪名川堤防～大阪空港南端～緩衝緑地帯～阪急曽根駅
約8kmで、全て平地を歩くコースです
- 解散場所 : 阪急宝塚線 曽根駅 15:30予定
- 装備 : ハイキングスタイル(土の道や河川敷も歩きます)
- 持ち物 : 弁当・飲み物・雨具・観察用具・双眼鏡・図鑑など



猪名川自然林



田能遺跡



滑走路の向こうは、中山連山

自然と文化をウォッチング

「猪名川下流を歩く」の 参考資料

- ① 船詰神社
主神は 鳥の磐楠船の命（とりのいわくすぶねのみこと）と言い、天照大御神より使わされた交通の神様。 別名 交通神社。
前の公園で、集合し朝礼。
- ② 猪名川旧左岸堤防跡 豊中市
蛇行していた猪名川を 洪水対策で昭和 49 年から 54 年にかけて直線化したために、大阪平野の真ん中に残された自然の植生。昔の大阪の河畔林の姿が今も残る。
- ③ 猪名川旧右岸堤防跡 尼崎市
尼崎市が、照葉樹（アラカシ・クロガネモチ・ヤブツバキ・タブノキ）を植栽して、植生が昔と変わった。
- ④ 猪名川公園
蛇行していた旧猪名川の川底。休憩・トイレ
- ⑤ 猪名川河川敷
河原に咲く草花と、川岸に繁る樹木を観察
- ⑥ 猪名川右岸堤防
昭和 54 年、洪水対策で堤防を高くし、河川を直線化。
正面に六甲山、眺望良し。園田競馬場の全貌も見える。
- ⑦ 田能遺跡
吉野ヶ里遺跡や登呂遺跡と同じ 弥生時代（約 2,300 年～1,700 年前）全期の住居跡。円形平地式住居・方形竪穴式住居・高床式倉庫が復元。
2 組に別れて、ガイドの説明 30 分、自由見学 30 分、昼食 30 分。
- ⑧ 下水処理場とごみ処理場敷地
60 年前は、広大な竹林。
河原には、ヨシや オギが茂る
- ⑨ 大阪空港B滑走路南端
頭のすぐ上を、一日 370 機の飛行機が離発着するのは、迫力満点。
定時運航率が 93.85%の世界一の空港。
雨・風・雪・霧などの気象状況良い。
- ⑩ 空港周辺緑地整備事業
大阪空港の騒音対策。空港周辺を国交省が買い上げ、緩衝緑地帯を設置。
しかし 航空機の騒音は大幅に改善され、森友学園などに払下げ。
- ⑪ 阪急電車宝塚線 曾根駅
15:30 解散

本日のリーダー

1・児玉 2・星田 3・池上 4・遊上

